



CASBEE横浜2017年版v.1.1

三橋 輝夫 様 共同住宅

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0	建築物の環境品質					-		-	2.5
Q1	室内環境					0.40			3.1
1	音環境				3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1	騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2	遮音				3.0	0.50	3.6	0.50	-
1.2.1	開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30	-
1.2.2	界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	-
1.2.3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4	界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.3	吸音				3.0	0.00	3.0	-	-
2	温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1	室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	-
2.1.1	室温	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.62	3.0	0.63	-
2.1.2	外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	温熱環境 外皮性能	3.0	0.37	3.0	0.38	-
2.1.3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.01	-	-	-
2.2	湿度制御	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20	-
2.3	空調方式	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	-
3	光・視環境				3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1	昼光利用				3.0	0.30	3.0	0.30	-
3.1.1	昼光率	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.59	3.0	0.50	-
3.1.2	方位別開口	快適・働きやすさ		光環境	-	-	3.0	0.30	-
3.1.3	昼光利用設備	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.41	3.0	0.20	-
3.2	グレア対策				3.0	0.29	3.0	0.30	-
3.2.1	昼光制御	快適・働きやすさ		光環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3	照度	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4	照明制御	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.26	3.0	0.25	-
4	空気質環境				3.5	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1	発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	-
4.1.1	化学汚染物質	快適・働きやすさ		空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2	換気				3.0	0.40	3.0	0.38	-
4.2.1	換気量	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.2.2	自然換気性能	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	-	3.0	0.33	-
4.2.3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3	運用管理				3.0	0.00	-	-	-
4.3.1	CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
4.3.2	喫煙の制御	快適・働きやすさ		空気質環境	3.0	0.50	-	-	-
Q2	サービス性能				-	0.30	-	-	2.6
1	機能性				2.2	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1	機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60	-
1.1.1	広さ・収納性	快適・働きやすさ		機能性	3.0	-	3.0	-	-
1.1.2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		機能性	3.0	-	2.0	1.00	-
1.1.3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ		機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2	心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-
1.2.1	広さ感・景観	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.01	3.0	0.50	-
1.2.2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.01	-	-	-
1.2.3	内装計画	快適・働きやすさ		機能性	1.0	0.99	1.0	0.50	-
1.3	維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1.3.1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.50	-	-	-
1.3.2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		機能性	2.0	0.50	-	-	-
2	耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1	耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
2.1.1	耐震性	防災		耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2.1.2	免震・制振性能	防災		耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2	部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
2.2.1	躯体材料の耐用年数	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4	信頼性				2.0	0.20	-	-	-
2.4.1	空調・換気設備	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.2	給排水・衛生設備	防災		信頼性	2.0	0.20	-	-	-
2.4.3	電気設備	防災		信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2.4.4	機械・配管支持方法	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.5	通信・情報設備	防災		信頼性	1.0	0.20	-	-	-
3	対応性・更新性				3.0	0.30	3.5	1.00	3.4
3.1	空間のゆとり				3.0	0.01	4.0	0.50	-
3.1.1	階高のゆとり				3.0	0.60	4.0	0.60	-
3.1.2	空間の形状・自由さ				3.0	0.40	4.0	0.40	-
3.2	荷重のゆとり				3.0	0.01	3.0	0.50	-
3.3	設備の更新性				3.0	0.99	-	-	-
3.3.1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-

# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 | 評価結果 | 29-016



CASBEE横浜2017年版v.1.1

三橋 輝夫 様 共同住宅

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>1.7</b>	
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	-	<b>3.1</b>	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-	-	<b>3.5</b>	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	建物の熱負荷抑制		2.9	0.20	-	-	-	2.9	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの効率化	省エネルギー性能	設備システムの効率化		4.1	0.50	-	-	-	4.1	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	効率的運用		3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	効率的運用		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>2.6</b>	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	-	2.5	
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.20	-	-	-	2.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	-	-	
3.2.1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)				2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2.3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	-	<b>3.1</b>	
1 地球温暖化への配慮				4.4	0.33	-	-	-	4.4	
2 地域環境への配慮				1.9	0.33	-	-	-	1.9	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	
2.3.1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
3.1.1 騒音				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.1.2 振動				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.1.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
3.2.1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	
3.2.2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	-	
3.2.3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-	-	
3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	健康対策		5.0	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画	健康・安心	健康対策		3.0	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策	健康・安心	健康対策		3.0	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	防犯対策		1.0	-	-	-	-	-	